

誰もが“命ある限り輝ける場所”を目指して真心を尽くす

社会福祉法人 ルピナス会

【しゃかいふくしほうじん るびなすかい】

鹿児島県
肝属郡
東串良町



Higashikushira Town

自社農園で栽培した粒ぞろいの落花生。賑やかな会話のなか慣れた手付きで選別が行われますが、作業する目は真剣そのもの。

仕事の達成感を味わい 一人ひとりの人生を豊かに

〈ルピナス会〉は障がいを持った人々の就労を支援する社会福祉法人。約50名の利用者とともに農作業や食品加工などを行っています。代表の小蓬原(こふつはら)千津留さんは利用者と一緒に作業をしたり訪問客の対応をしたりと、忙しく働く中でもにこやかな笑顔が印象的。「来てくれる皆さんにとって、ここが明るく居心地のいい場所であり続けることが私の一番の役目だと思っています」。

ふるさと納税の返礼品として人気の

高い“ルピナッツ”は、自社農園で植え付けから収穫まで行う落花生を使用。指先を真っ黒にしながらの豆の選別作業も「いい豆が育ったね」「ほら見て、粒が大きいよ」そんな利用者同士の些細な会話が愛おしくて仕方がないと千津留さんは話します。「障がいの有無に関わらず、与えられた役割を果たすという達成感と充実感は人生を豊かにしてくれます。利用者さんにとってそういう経験のお手伝いができることは支援者冥利に尽きますね」。

栽培も作業も失敗を乗り越えて

少しずつ前進・成長



作業場のすぐ近くにある自社農園“ルピナスファーム”。落花生のほか、南高梅や紫蘇なども自社栽培。季節ごとにやってくる収穫の時期は、職員も利用者も楽しみに農園に向かいます。出来が良くないと商品にならず落ち込むこともあります。改良を繰り返しながら安定した収穫と質の向上を試みます。

収穫・選別・洗浄をした落花生を、天日干しする作業。南国に燦々と降り注ぐ太陽の光で天日乾燥することで、落花生本来の甘さを最大限に引き出します。20代～70代の利用者が年代の垣根を越えて生き生きと働く姿に、“命ある限り輝ける場所”を提供したいという千津留さんの強い理念を実感させられます。

年齢も性別も関係なく

生き生きと働ける場所を目指して



〈ルピナス会〉の看板商品
“ルピナッツ”。
落花生本来の甘さをご堪能ください。



社会福祉法人 ルピナス会

〒893-1614

鹿児島県肝属郡東串良町新川西4996-1

TEL/0994-63-8855

発行:東串良町役場 企画課 ふるさと納税担当

〒893-1693 鹿児島県肝属郡東串良町新川西1543

TEL/0994-63-2630 FAX/0994-63-3138



こふつはら 左/小蓬原 尚昭さん・右/小蓬原 千津留さん

13年ほど前から施設の運営に携わっている息子の尚昭さん。事務だけでなく畑仕事や力仕事も手伝ってくれる心強い存在。小蓬原さん家族に加え、10名ほどの従業員とともに明るく楽しい職場づくりを心がけています。